



# Hirata

## 第67回 定時株主総会

平田機工株式会社



# 平田機工株式会社

第67期

事業報告

連結計算書類

計算書類

# 事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日





**企業集団の現況**  
**当事業年度の事業の状況**

**事業の経過および成果**



## ▶ 世界の経済情勢

### 米国

**良好な雇用・所得環境  
個人消費の回復**

**設備投資拡大  
内需主導の景気拡大が持続**

## ▶ 世界の経済情勢

### 欧州

好調な外需を背景とした  
輸出の増加

欧州全体が堅調に推移

## ▶ 世界の経済情勢

中国

輸出、個人消費は  
減速傾向にあるものの  
高水準を維持



## 国内経済

**設備投資増加や  
雇用・所得環境の改善による  
個人消費の拡大**

**緩やかな回復基調**



## ▶ 世界経済

**米国の保護主義的な通商政策**

**中国を中心とした  
新興国経済の不確実性**

**景気の先行きは不透明**

▶ 当社グループ

**高い生産量への対応**

**生産リソースの最適な配分による  
内製化率の拡大**

**サプライチェーンの効率化**

**生産体制の強化、コスト低減図る**



## ▶ 当社グループ

### 海外子会社との連携

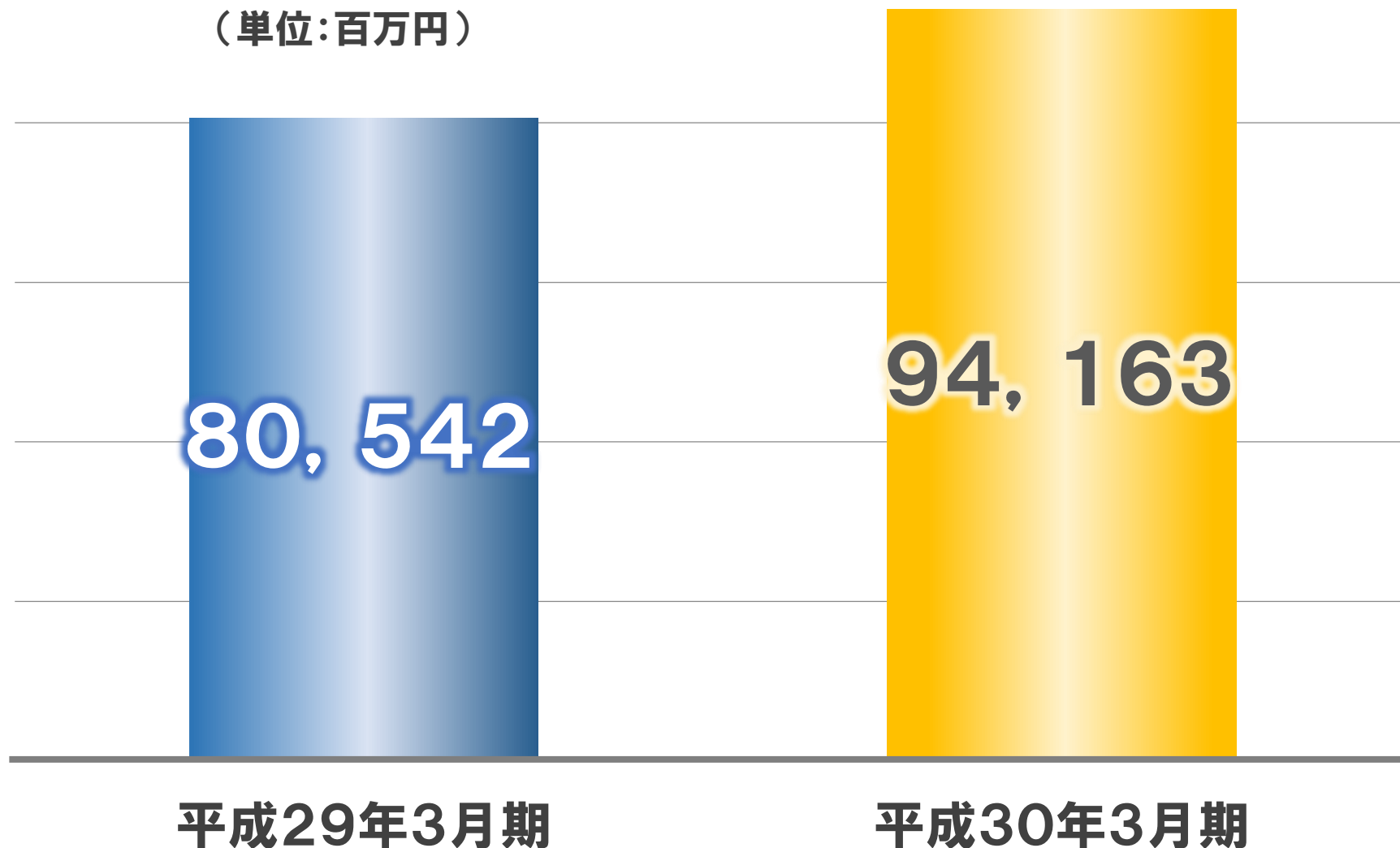
国内、アジア、北米の  
既存市場に加え

欧州市場の開拓

連結売上高

94,163百万円  
前期比16.9%増

(単位:百万円)

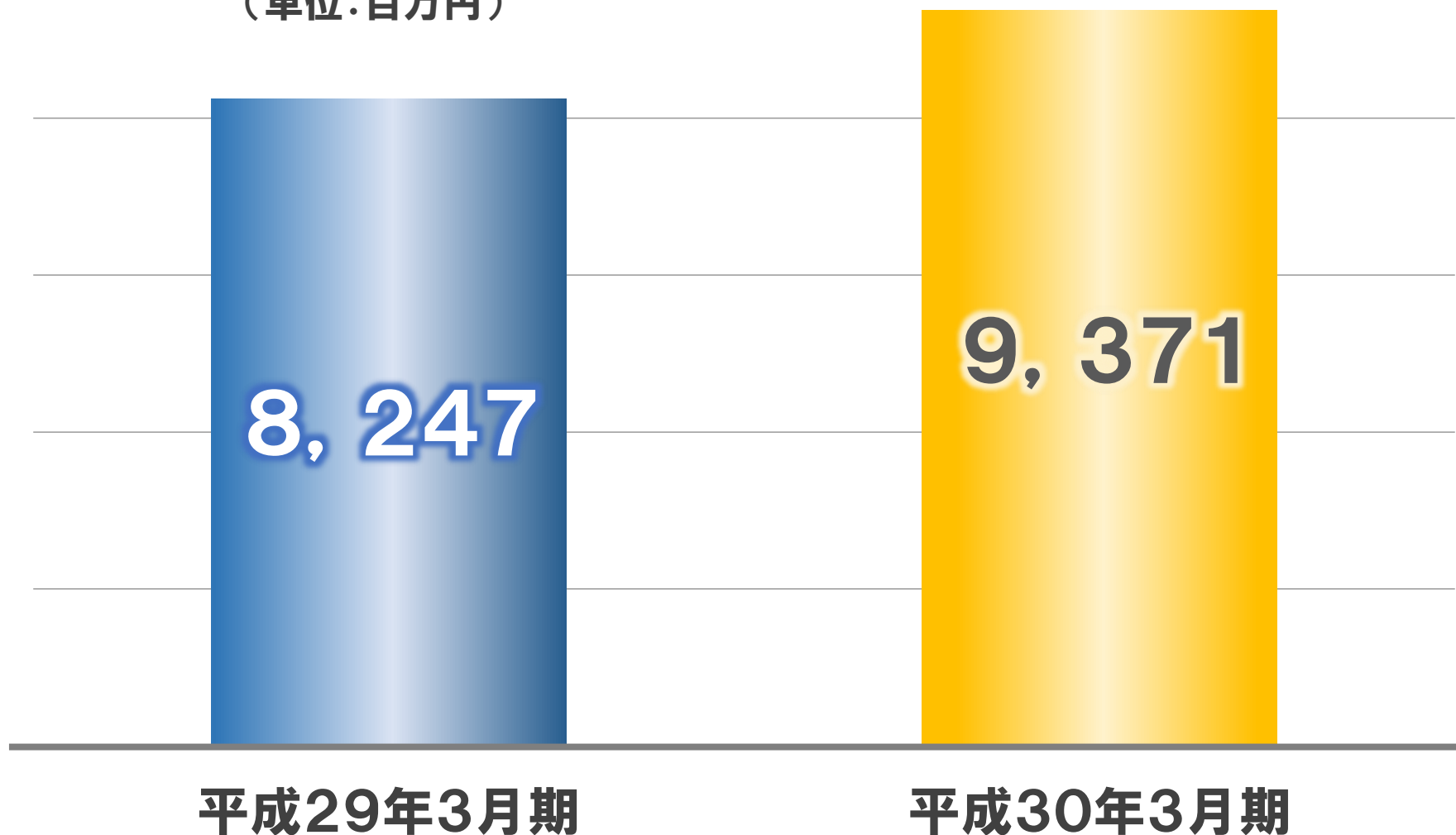




連結営業利益

9,371百万円  
前期比13.6%増

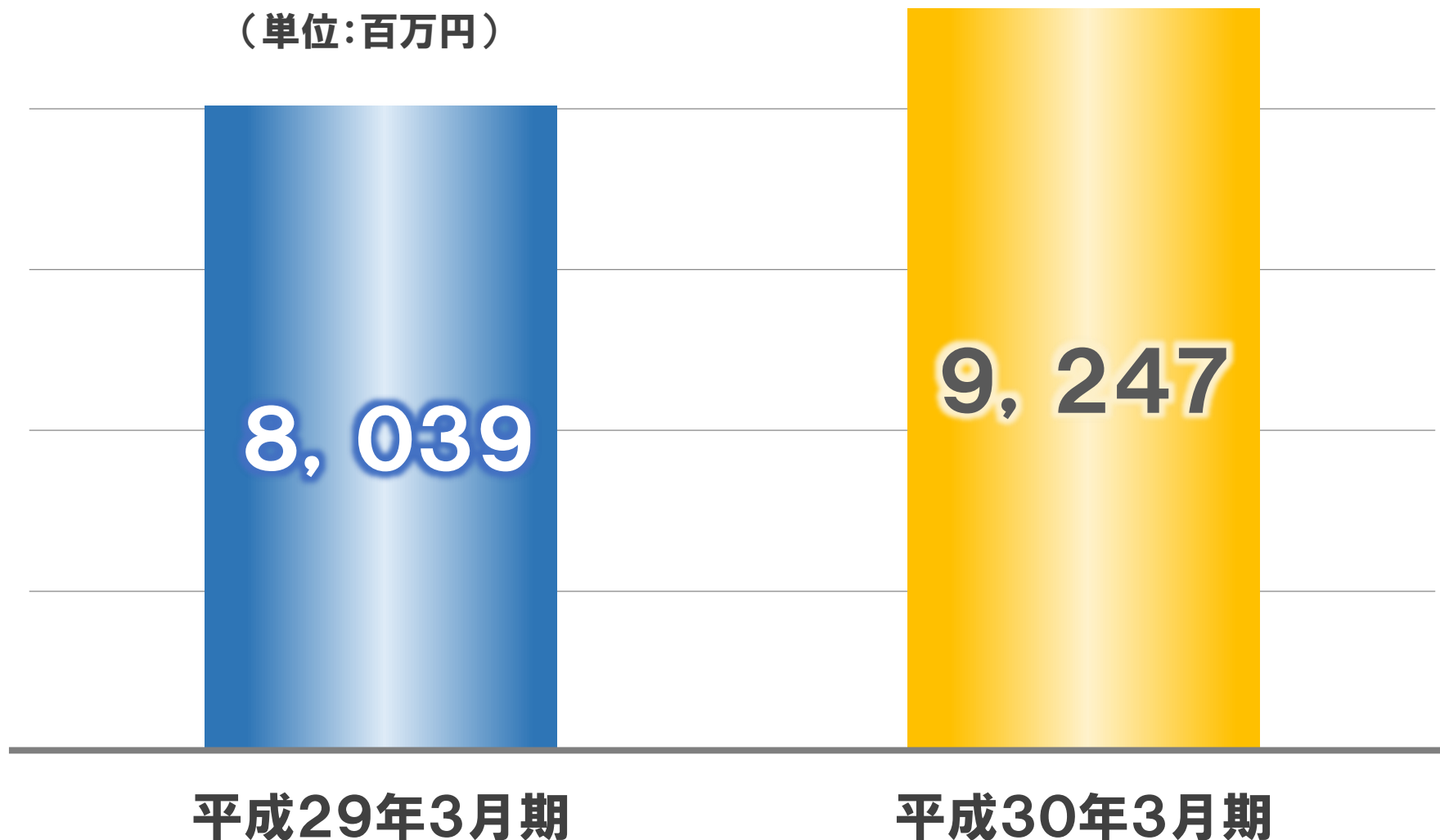
(単位:百万円)



連結経常利益

9,247百万円  
前期比15.0%増

(単位:百万円)

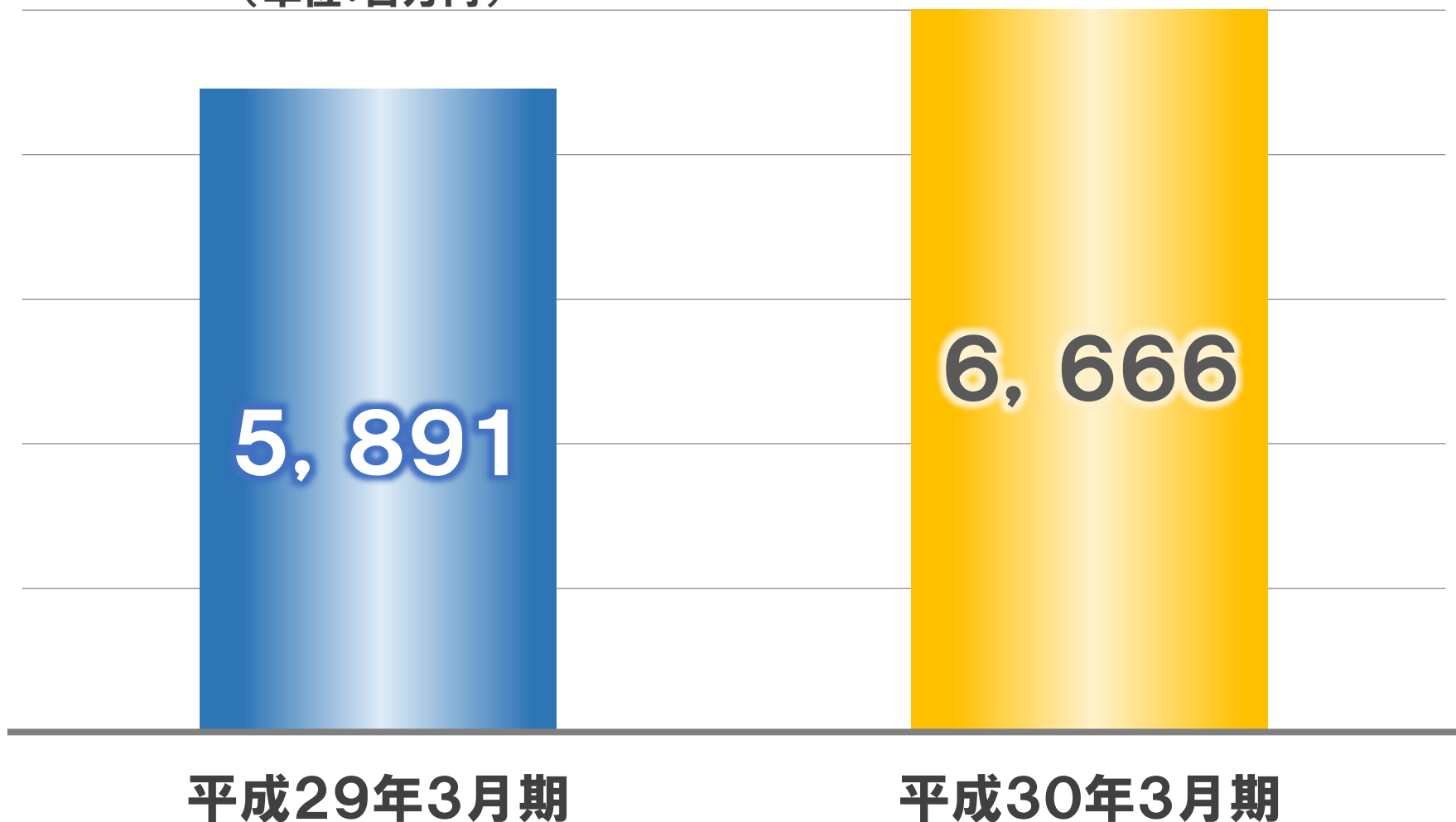




親会社株主に帰属する  
当期純利益

6,666百万円  
前期比13.2%増

(単位:百万円)





# 事業部門別の営業概況





# 自動車関連生産設備事業

売上高

34,955百万円  
前期比15.5%増

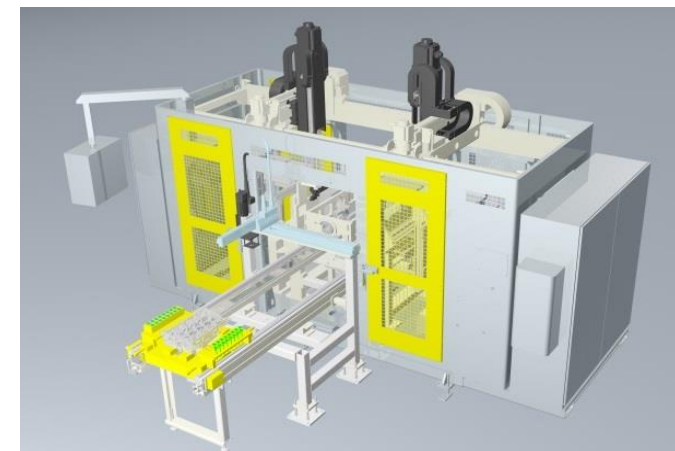
構成比  
37.1%



オートマチック  
トランスミッションの  
クラッチ組立装置



単体商品化された  
エコ電動ストッパー



シリンダーヘッドの  
バルブ組付装置

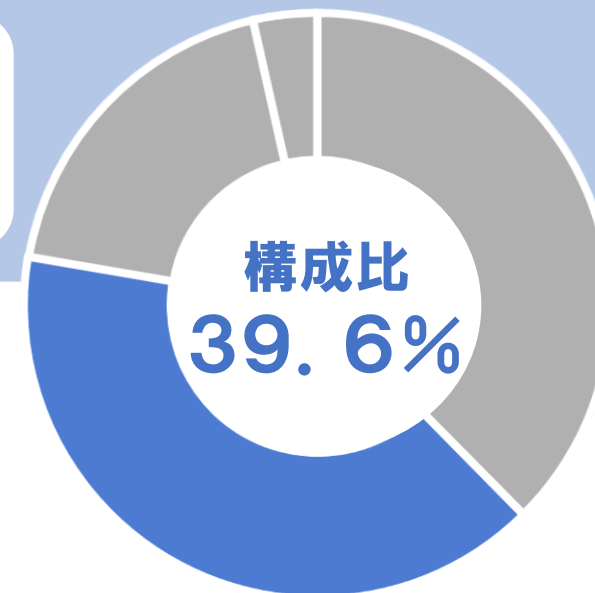




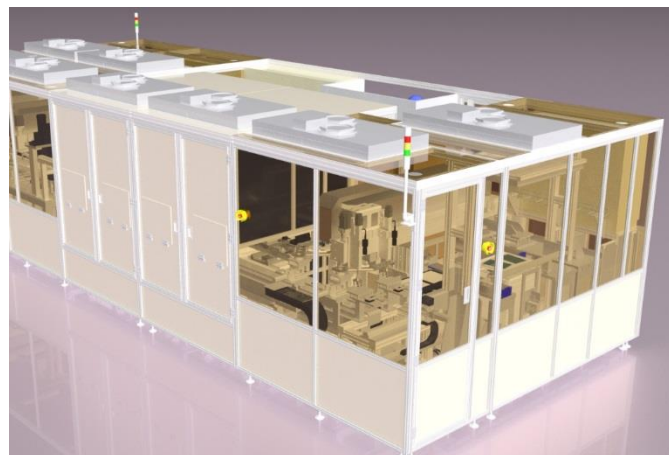
# 半導体関連生産設備事業

売上高

37,338百万円  
前期比15.6%増



有機EL関連装置  
真空蒸着装置

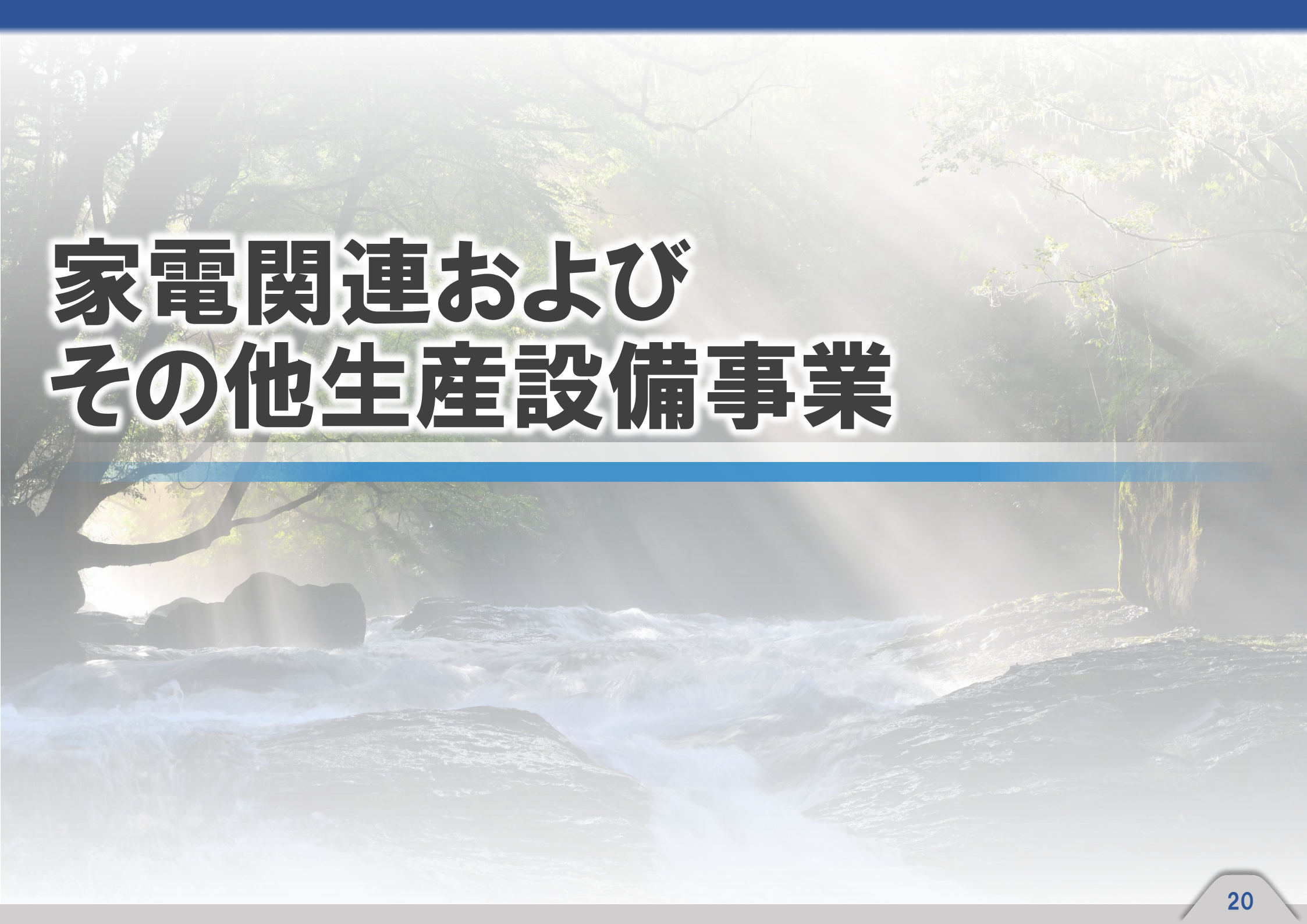


レーザーガラス切断システム



ウェーハ搬送ロボット

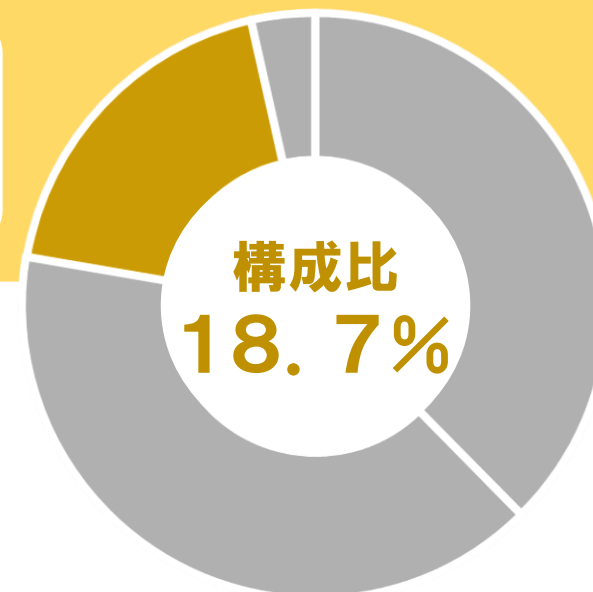




# 家電関連および その他生産設備事業

売上高

17,569百万円  
前期比15.9%増



家電の部品組立装置



樹脂成型機ライン



モバイル組立装置





# 設備投資の状況

**総額**

**2,397**百万円

## 当連結会計年度中に完成、導入した主要設備

<b>熊本工場</b>	加工機械など	<b>193</b> 百万円
<b>国内工場</b>	統合基幹業務システム	<b>104</b> 百万円
<b>関東工場</b>	第2技術センター	<b>99</b> 百万円

## 当連結会計年度において継続中の主要設備の新設

<b>熊本工場</b>	工場の建設	<b>608</b> 百万円
<b>タイハイテクノス(株)</b>	技術センターの新設	<b>185</b> 百万円



## 資金調達状況

平成29年6月14日付

公募による自己株式の処分

1,000,000株、10,465百万円

平成29年7月12日付

第三者割当による自己株式の処分

237,800株、2,488百万円

**事業の譲渡、吸収分割  
または新設分割の状況**

**他の会社の事業の譲受けの状況**

**吸収合併または吸収分割による  
他の法人などの事業に関する  
権利義務の承継の状況**



**他の会社の株式その他の持分または  
新株予約権等の取得または処分の状況**

**につきましては、該当事項はございません。**

## 直前3事業年度の財産および 損益の状況

## 重要な親会社および子会社の状況

につきましては、  
5ページから6ページをご参照ください。





# 対処すべき課題について

1

**他社との提携を含めた  
生産体制の増強**

2

**成長分野への進出**

3

**量産化ビジネスの確立と  
商品化**



## ① 他社との提携を含めた生産体制の増強

2018年末以降に稼働予定の  
熊本新工場

最新設備の入れ替えなど、  
生産効率と内製化率を最大化

## ① 他社との提携を含めた生産体制の増強

海外協力会社との資本提携

設計から製造まで  
現地対応が可能な体制構築

自動車の大型案件を受注



## ① 他社との提携を含めた生産体制の増強

グループ内部のエンジニア力強化  
生産体制の整備

国内外の協力会社や  
同業他社との提携促進

生産能力・技術力の増強

## ② 成長分野への進出

**電気自動車市場  
欧州・中国からの引き合い活況**

**モーター, EDU, バッテリー, インバーター  
などの得意分野を中心に  
グローバルで積極的な営業展開**



## ② 成長分野への進出

付加価値の高い製品を提供



M&Aによる新しい技術や  
ノウハウの獲得

### ③ 量産化ビジネスの確立と商品化

個別設計製品の「標準モジュール化」

高性能・高品質製品の量産化  
顧客要望への柔軟、迅速な対応

収益安定



### ③ 量産化ビジネスの確立と商品化

既存製品を活かした開発商品の販売

株式会社ミスミのサイトで  
エコ電動ストッパーの販売



### ③ 量産化ビジネスの確立と商品化

優れた製品や技術を保有する  
会社や学術機関との技術協力



生産設備システムインテグレータ  
としての知見を組み合わせた  
新しい製品の創造に挑戦



**主要な事業内容**

**主要な営業所および工場**

**使用人の状況**

**主要な借入先の状況**

**その他企業集団の現況に関する重要な事項**

につきましては、  
8ページから10ページをご参照ください。

- 株式の状況
- 新株予約権等の状況
- 会社役員者の状況
- 会計監査人の状況
- 業務の適正を確保するための体制
- 業務の適正を確保するための体制の運用状況
- 会社の支配に関する基本方針

につきましては、  
11ページから21ページをご参照ください。

# 会社の支配に関する基本方針

## 連結注記表

## 個別注記表

につきましては、  
当社ウェブサイトに掲載して  
おりますので、そちらにてご確認ください。





# 連結貸借対照表

平成30年3月31日現在

## ➤ 資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動資産	73,026	+8.2%
固定資産	22,876	+10.1%
資産合計	95,903	+8.7%

## ➤ 負債の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
流動負債	37,485	△22.3%
固定負債	11,834	△5.0%
負債合計	49,320	△18.7%



## ▶ 純資産の部

主要科目	金額(百万円)	増減率
資本金	2,633	—
資本剰余金	14,280	—
利益剰余金	24,347	+30.7%
その他の 包括利益累計額	4,901	+3.9%
<b>純資産合計</b>	<b>46,582</b>	<b>+69.0%</b>
負債及び 純資産合計	95,903	+8.7%

# 連結損益計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 主要科目

## 金額(百万円)

## 増減率

売上高

94,163

+16.9%

営業利益

9,371

+13.6%

経常利益

9,247

+15.0%

親会社株主に帰属する  
当期純利益

6,666

+13.2%



**連結株主資本等変動計算書**

**貸借対照表**

**損益計算書**

**株主資本等変動計算書**

につきましては、  
24ページから27ページをご参照ください。